

備前市施設評価シート（一般）

基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり	施策	01 文化芸術の振興	事務事業	04 吉永美術館管理運営事業	問合せ先 (担当課・係・職・氏名)	生涯学習課 主査 光友公昭
------	-------------------	------	------------------	----	------------	------	----------------	----------------------	---------------

PLAN				DO					CHECK		ACTION			
基本情報		施設の目的等		施設内容・規模・料金体系等		経費		財源		妥当性評価 評価の根拠 は下記にあり	H24年度の状況及び管理運営の改善案	判定		
施設名	備前市吉永美術館	根拠法令等	備前市吉永美術館設置条例	鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積206.75㎡	特別展示室・一般ギャラリー・展示室	人件費	正規職員 0.0人 182 臨時職員 人	平成21年度実績 0.0人 182 平成22年度実績 0.1人 503 平成23年度実績 0.0人 372	単位 人/千円	C	全4回の所蔵展を企画。今後PRしていく。今後は老朽化に伴う施設の修繕が予想される。	廃止・閉鎖が可能 類似施設との統合が可能 民間又は地域等への譲渡が可能 指定管理者制度の導入が可能 事務等一部委託が可能 現在の管理運営体制が望ましい		
所在地	備前市吉永町吉永中885	対象	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方	4,000円/1日(貸館)	大人200円・子供100円(観覧料)	指定管理料			千円				判定理由	
建物建設費	73,336千円	目的	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸ギャラリーとしての貸館業務を行う。	維持補修費		851	千円							
財源 補助金等	30,000千円			物件費	643	673	1,684	千円						
財源 一般財源等	43,336千円			その他( )	5	5	5	千円						
建設年月日	平成2年2月	類似施設の状況	あり 施設名(歴史民俗資料館・加子浦歴史文化館) なし	減価償却費	780	780	780	千円	効率性評価 評価の根拠 は下記にあり				修繕・大規模改修(今後5年間)	美術館としての機能は利用客数の現状を考慮すると閉鎖もやむを得ない状況である。だが、郷土歴史資料の適切な保管を行うところが他になく、市が責任をもって管理運営し郷土の財産として後世に伝えていく事が必要。
耐用年数	50年			合計	1,610	2,812	2,841	千円						
管理運営方法	指定管理者制度 一部委託 委託内容(すべて直営)			特定財源 使用料 24	0	22	千円	C	毎年経常的に必要な修繕費 なし				今後5年間に必要となる大規模改修費 なし	
				一般財源	1,586	2,812	1,819							千円
				指定管理者の利用料金収入等			千円							
				年間利用者数	682	476	789			人				
				利用者1人当たりコスト(一般財源)	2,326	5,908	2,305	円						
				受益者負担率	1.5%	0.0%	0.8%	%						

稼働実績	施設名: 備前市吉永美術館	妥当性評価の根拠	施設のニーズは薄れていないか? 薄れている ・ 薄れていない
平成23年度	(単位:日,人)		そもそも市が設置・運営すべき施設か? 設置すべき ・ 必ずしも設置の必要はない
種別\月	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計	効率性評価の根拠	廃止した場合の市民生活への影響は? 大きい ・ それほどでない
開館日数	0 21 17 19 18 16 19 18 9 27 5 0 169		利用状況は順調か? 順調である ・ 順調でない
吉永美術館	0 19 9 17 17 8 40 648 4 27 0 0 789		受益者負担は適正か? 適正である ・ 見直しの余地あり
			・ 負担は求められない
			類似施設との統合の可能性はあるか? 可能 ・ 不可能
		管理運営コストの削減の余地はあるか? ある ・ ほとんどない	